

2025(令和7)年度

入学試験要項

◇ウクライナ学生特別編入学選抜方式◇

九州共立大学

教育方針(三つの方針)

(1)令和7年度2年次編入生

<h3>入学者受け入れ方針 (AP) (アドミッション・ポリシー)</h3>	
<p>本学は、学是「自律実行(自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する)」を体現し、卒業認定・学位授与の方針(DP)に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。</p> <p>また、高等学校もしくは中等教育学校において、基礎学力と基本的な学修習慣を有し、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身に付け、それぞれの学科が必要としている「基礎的な知識・技能の修得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学修に取り組む態度」を有し、さらに教育課程編成・実施の方針(OP)をよく理解し、各学科の教育目標に応じて真摯に学問修得に励む人を広く求める。</p>	
経済学部	<p>経済・経営学科</p> <p>経済・経営学科は、卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(OP)に基づき、経済の仕組みや組織の効率化、効率的な運営・経営戦略などについて修得する。</p> <p>入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、経済学・経営学の学問的知識を身に付け、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身に付けており、国内外における現状・課題を認識し、課題解決に積極的に取り組もうとする意欲がある。</p>
	<p>地域創造学科</p> <p>地域創造学科は、卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(OP)に基づき、経済学・経営学を基礎に、地域政策・観光に関連する専門知識などについて修得する。</p> <p>入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、地域政策・観光に関連する学問的知識を身に付け、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身に付けており、国内外における現状・課題を認識し、人や地域と積極的にかかわろうとする意欲がある。</p>
スポーツ学部	<p>スポーツ学科</p> <p>スポーツ学科は、卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(OP)に基づき、体験を重視する教育を通して、体育・スポーツ学に関する高い専門知識などを修得する。</p> <p>入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎とスポーツに関する基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられ、高い力量を持つスポーツ指導者やスポーツに関係する者の素養があり、そのための研究や実践に取り組み、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身に付けており、教育現場やスポーツイベントなどに積極的にかかわろうとする意欲がある。</p>

教育課程編成・実施の方針（CP）（カリキュラム・ポリシー）

本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針(OP)の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】

1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。
2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。

【教育方法】

1. 学生の主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。
2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。

【教育評価】

1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に倣い単位を付与する。
2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。

経済学部	経済・経営学科	<p>経済・経営学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。</p> <p>【教育内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、6つの領域（生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス）で求められる幅広い知識を修得する科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「学際共通科目」「学科共通科目」「領域科目」「ゼミナール科目」で区分し、経済・経営分野の基礎的内容から応用・発展的内容（生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス）までの知識と技能を体系的に修得できるように科目を配置する。 3. さらに、ゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組む科目として配置する。 <p>これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。</p> <p>【教育方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. グループ学修においては、協働性・協働性を身に付け、課題解決能力や実践力が身に付けられるよう指導する。 3. 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。 <p>【教育評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。 2. 4年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって行い、総合的に評価する。
経済学部	地域創造学科	<p>地域創造学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。</p> <p>【教育内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、地域政策コース、観光まちづくりコースの2コースで構成し、地域の発展に寄与できる専門知識と実践力を養う科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「学際共通科目」「学科共通科目」「コース科目」「ゼミナール科目」で区分し、経済・経営分野の基礎的内容に加え、地域政策・観光分野の基礎的内容から応用・発展的内容までの知識と技能を体系的に修得できるように科目を配置する。 3. さらに、ゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組む科目として配置する。 <p>これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。</p> <p>【教育方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 地域と協働し、地域社会の発展と発展に寄与できる実践力を身に付けられるよう指導する。 3. 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。 <p>【教育評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。 2. 4年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって行い、総合的に評価する。
スポーツ学部	スポーツ学科	<p>スポーツ学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専攻教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。</p> <p>【教育内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、アスリートマネジメントコース、スポーツ教育コース、スポーツトレーナーコース、スポーツ政策コースの4コースで構成し、スポーツに関する専門的知識、技能を身に付けるよう、系統的に科目を配置する。 2. 専門教育科目は、「学際共通科目」「学科共通科目」「専攻コース科目」「ゼミナール科目」「スポーツ実技科目」で区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、知識と技能を修得し、さらに両者を実践的に学修できるように科目を配置する。スポーツに関わる理論知・実践知を身に付け、学年を重ねるにつれてそれらを活用する能力を高められるよう、必修科目と選択科目を段階的に配置する。 3. さらにゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組む科目として配置する。 <p>これらの科目を通して、国内外において活かせる「協調性」、「社会性」、「リーダーシップ」、「コミュニケーション能力」、「礼節とマナー」、「指導者能力」、「課題探求能力」、「課題解決能力」を育む。</p> <p>【教育方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。 2. 演習・実習・実習においてはグループ学修を取り入れ、協働性を身に付けるとともに、自己および他者の課題を発見し、解決する能力を育成する。 3. 卒業研究は、身に付けた知識・技能・論理的思考力・分析力を活用し、主体的に研究を行い、成果が実を結ぶように個別指導を実施する。 <p>【教育評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。 2. 4年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって行い、総合的に評価する。

卒業認定・学位授与の方針（DP）（ディプロマ・ポリシー）

本学は、学是「自律実行（自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する）」を体現し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身に付け、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（DP）を3つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身に付けている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身に付けた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身に付けている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】

高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身に付けている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身に付けている。

経済学部	経済・経営学科	<p>経済・経営学科は、総合的な教養、経済・経営分野での多様な専門知識を身に付け、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身に付け、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 経済・生産活動の担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。</p>
	地域創造学科	<p>地域創造学科は、総合的な教養、経済・経営分野を基盤に地域政策・観光分野での多様な専門知識を身に付け、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を備えた人材を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>【知識・技能】 学士（経済学）として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および地域政策・観光に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。</p>
スポーツ学部	スポーツ学科	<p>スポーツ学科は、総合的な教養、スポーツ分野での多様な専門知識を身に付け、幅広い教養かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>【知識・技能】 学士（スポーツ学）として相応しい幅広い教養を身に付け、総合的なスポーツ指導・健康づくりの学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、礼節を重んじ高い力量をもつスポーツ指導者の素養を身に付け、地域社会の中で率先して行動できる力を身に付けている。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者との協働を通じ、積極的にボランティア活動等を実践し、社会貢献できる力を身に付けている。</p>

入学者受け入れ方針（AP）（アドミッション・ポリシー）

本学は、学是「自律処行（自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する）」を体現し、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。

また、高等学校もしくは中等教育学校において、基礎学力と基本的な学修習慣を有し、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけ、それぞれの学科が必要としている「基礎的な知識・技能の修得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学修に取り組む態度」を有し、さらに教育課程編成・実施の方針（CP）をよく理解し、各学科の教育目標に応じて真摯に学問修得に励む人を広く求める。

<p>経済学部 経済・経営学科</p>	<p>経済・経営学科は、卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、経済の仕組みや組織の効率化、効率的な運営・経営戦略などについて修得する。 入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、経済学・経営学の学問的知識を身につけ、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、高い道徳心を備え、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけており、国内外における現状・課題を認識し、課題解決に積極的に取り組もうとする意欲がある。</p>
<p>経済学部 地域創造学科</p>	<p>地域創造学科は、卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、経済学・経営学を基盤に、社会貢献・地域経済に関連する専門知識などについて修得する。 入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられる力があり、社会貢献・地域経済に関連する学問的知識を身につけ、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、高い道徳心を備え、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけており、国内外における現状・課題を認識し、人や地域と積極的にいかかわろうとする意欲がある。</p>
<p>スポーツ学部 スポーツ学科</p>	<p>スポーツ学科は、卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、体験を重視する教育を通じて、体育・スポーツ学に関する高い専門知識などを修得する。 入学者には次のような学力を有した人を求める。</p> <p>【知識・技能】 高等学校もしくは中等教育学校の教育内容を幅広く学修しており、特に国語を通じて、読む、聞く、話す、書くという表現力、発信力、コミュニケーション能力の基礎とスポーツに関する基本的な知識や技能を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分自身の経験を踏まえ、自分の考えや意見が述べられ、高い力量を持つスポーツ指導者やスポーツに関係する者の素養があり、そのための研究や実践に取り組み、社会で活かしたいという目的意識がある。</p> <p>【主体性・協働性・倫理性】 課外活動やボランティア活動等を通じて、高い道徳心を備え、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけており、教育現場やスポーツイベントなどに積極的にいかかわろうとする意欲がある。</p>

教育課程編成・実施の方針（CP）（カリキュラム・ポリシー）

本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針（DP）の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】

1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。
2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。

【教育方法】

1. 学生の主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。
2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。

【教育評価】

1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。
2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。

経済学部 経済・経営学科

経済・経営学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】

1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、8つの領域（生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、ビジネス実務）で求められる幅広い知識を修得する科目を配置する。
 2. 専門教育科目は、「経済学関連科目」、「経営学関連科目」、「演習科目」を中心に、ビジネス社会の汎用的科目群を体系的に配置する。
 3. さらに専門教育科目では、社会人として必要とされる能力の可視化として、資格取得を目指す科目を配置する。
- これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。

【教育方法】

1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。
2. グループ学修においては、協働性・協調性を身につけ、課題解決能力や実践力が身につけられるよう指導する。
3. 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。

【教育評価】

1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。
2. 4年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。

経済学部 地域創造学科

地域創造学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。

教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】

1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、社会貢献コース、地域経済コースの2コースで構成し、地域の発展に寄与できる専門知識と実践力を養う科目を配置する。
 2. 専門教育科目は、「経済学関連科目」、「経営学関連科目」の基本知識および「社会貢献関連科目」などを中心に、地域社会の汎用的科目群を体系的に配置する。
 3. さらに専門教育科目では、社会貢献、地域経済などの領域で必要とされる能力の可視化として、資格取得科目を配置し、地域におけるさまざまな課題に対して実践的に取り組む科目を配置する。
- これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。

【教育方法】

1. PBL やアクティブラーニングを重視し、主体的な学びを高める教育手法を実施する。
2. 地域と協働し、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけられるよう指導する。
3. 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。

【教育評価】

1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。
2. 4年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。

スポーツ学部 スポーツ学科

スポーツ学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専攻教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】

1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、アスリートマネジメントコース、スポーツ教育コース、スポーツトレーナーコース、スポーツ政策コースの4コースで構成し、スポーツに関する専門的知識、技能を身につけるよう、系統的に科目を配置する。
 2. 専門教育科目は、「共通科目」「専攻コース科目」「専門演習科目」「スポーツ実技科目」で区分し、基礎的内容から応用・発展的内容まで、知識と技能を修得し、さらに両者を実践的に学修できるよう科目を配置する。スポーツに関わる理論知・実践知を身につけ、学年を重ねるにつれてそれらを活用する能力を高められるよう、必修科目と選択科目を段階的に配置する。
 3. さらに専門演習科目は、3年次より少人数クラスで展開され、4年次に卒業研究に取り組む。
- これらの科目を通して、国内外において活かせる「協調性」、「社会性」、「リーダーシップ」、「コミュニケーション能力」、「礼節とマナー」、「指導者能力」、「課題探求能力」、「課題解決能力」を育む。

【教育方法】

1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。
2. 演習・実習・実習においてはグループ学修を取り入れ、協調性を身につけるとともに、自己および他者の課題を発見し、解決する能力を育成する。
3. 卒業研究は、身につけた知識・技能・論理的思考力・分析力を活用し、主体的に研究を行い、成果が実を結ぶように個別指導を実施する。

【教育評価】

1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。
2. 4年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって行い、総合的に評価する。

卒業認定・学位授与の方針（DP）（ディプロマ・ポリシー）

本学は、学是「自律処行（自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する）」を体現し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（DP）を3つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】

キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。

【思考力・判断力・表現力】

本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。

【主体性・協働性・倫理性】

高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。

経済学部 経済・経営学科

経済・経営学科は、総合的な教養、経済分野での多様な専門知識を身につけ、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】

学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。

【主体性・協働性・倫理性】

経済・生産活動の担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

経済学部 地域創造学科

地域創造学科は、総合的な教養、地域経済・社会貢献分野での多様な専門知識を身につけ、地域を構成する多様なステークホルダーと協働し地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身につけた人材を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】

学士（経済学）として相応しい教養を身につけ、経済学・経営学および社会貢献・地域経済に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身につけている。

【主体性・協働性・倫理性】

地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身につけている。

スポーツ学部 スポーツ学科

スポーツ学科は、総合的な教養、スポーツ分野での多様な専門知識を身につけ、幅広い教養かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】

学士（スポーツ学）として相応しい幅広い教養を身につけ、総合的なスポーツ指導・健康づくりの学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身につけている。また、礼節を重んじ高い力量をもつスポーツ指導者の素養を身につけ、地域社会の中で率先して行動できる力を身につけている。

【主体性・協働性・倫理性】

専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身につけている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者との協働を通じて、積極的にボランティア活動等を実践し、社会貢献できる力を身につけている。

■募集学部・学科および募集定員

学部	学科	募集定員
経済学部	経済・経営学科	若干名
	地域創造学科	若干名
スポーツ学部	スポーツ学科	若干名

※スポーツ学部については、I期のみ実施します。

■出願資格

以下の条件を全て満たしている者。

- ① ロシアの侵攻によりウクライナから出国して日本に避難したウクライナ国籍の大学在学生(学部生)。
※既に日本国内に避難し、大学・短大などに留学・在籍している方は、対象とはなりません。
- ② 大学に1年または2年以上在学し、本学の定める単位を修得した者。
 (本学の定める修得単位:3年次編入は62単位、2年次編入は31単位)

【留意事項】

- (1) 出願を希望する場合は、必ず事前に入試広報課へ連絡してください。
 九州共立大学入試広報課 e-mail: nyushi@kyukyo-u.ac.jp
- (2) 連絡後、出願手続きおよび日本語能力等に関して、確認させていただきます。
 ※受験するうえで日本語能力に不安がある場合は、お早めに入試広報課に連絡してください。

■編入年次

2年次もしくは3年次

【留意事項】

編入学にあたっては、以下の事項をあらかじめ留意してください。

編入年次	編入学前の単位修得条件について	留意事項
3年次	他の大学等に2年以上在学し、62単位以上の単位を修得した者	他の大学等で修得した単位が31単位以上62単位未満の場合は、2年次への編入学となります。
		他の大学等で修得した単位が31単位未満の場合は、編入学できません。
2年次	編入学の時点で、他の大学等に1年以上在学し、31単位以上の単位を修得した者	他の大学等で修得した単位が31単位未満の場合は、編入学できません。

※編入学した学年以降の必要最低年限で卒業できるとは限りません。

(例:3年次編入学の場合でも、2年間で卒業できないことがあります)

■入試日程

入試区分	学部・学科		出願期間	試験日	合格発表日	入学金・ 前期学納金等納入期限
Ⅰ期	経済学部	経済・経営学科	12月1日(日)～ 12月9日(月)	12月14日 (土)	12月21日 (土)	1月10日(金)
		地域創造学科				
	スポーツ学部	スポーツ学科				
Ⅱ期	経済学部	経済・経営学科	1月6日(月)～ 1月24日(金)	2月5日 (水)	2月14日 (金)	2月28日(金)
		地域創造学科				

※出願受付は、締切日の16時まで必着です。

※出願受付締切後は、いかなる理由があろうとも一切出願は受け付けません。

■試験時間割

試験当日は、試験開始20分前までに試験室または控室に入室してください。

入試区分	時間	10:30～	11:20～
	Ⅰ期		面接
Ⅱ期			面接

■選考方法

「面接」による判定です。

面接は、個別面接です。(受験者1名に対し面接者2名)(約10分)

質問内容は、志望理由などについてです。その際に自己紹介書を参考にします。

■入学試験場

試験場	所在地	電話番号
九州共立大学	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3305

■提出書類および入学検定料

インターネット出願後に(P 12 参照)、下記の書類を一括し角2封筒により提出してください。

提出書類	摘 要
入学志願書 受験票 副票	出願手続完了後に、入学志願書・受験票・副票をA4普通紙に印刷してください。 ①入力事項を修正する場合は、修正箇所に二重線を引き訂正印を押して、赤のボールペンで書き直してください。入力されたデータの修正は入試広報課にて行います。 ②受験番号欄は、入試広報課にて記載しますので、空欄のまま提出してください。 ③受験票は、入学志願書の現住所に封書で送ります。
自己紹介書	①編入学選抜専用の自己紹介書(経済学部:様式7、スポーツ学部:様式8)により、志願者本人が作成して提出してください。 ②記入する内容に制限はありません。自分をアピールする内容を書いてください。 ※HPよりダウンロードする場合は、両面印刷をしてください。
成績証明書	出身(在籍)大学発行の成績証明書を厳封のまま提出してください。 ※本学編入学後の単位認定および編入学年次を決定するために使用します。 ※日本語もしくは英語訳を添付すること。
単位取得見込 証明書	大学に在籍中で履修中の科目(単位取得見込の科目)がある場合は、その科目名・単位数が確認できる書類を提出してください。 (成績証明書に記載されている場合は提出不要です) ※提出されない場合は、履修中の科目がないものとして取り扱います。 ※日本語もしくは英語訳を添付すること。
講義要項 (シラバス)	①出身(在籍)大学で履修した各科目の講義内容・授業時間数等が確認できる講義要項(受講した年度、教員のもの)をコピーし、成績証明書、単位取得見込証明書の記載順に並べて提出してください。(履修中の科目がある場合は、それも含めて提出してください) ②講義要項は、返却しません。 ※本学編入学後の単位認定および編入学年次を決定するために使用します。 ※日本語訳を添付すること。
学生便覧	出身(在籍)大学の学生便覧(履修規程等、単位取得関連規程が記載されているもので、出身(在籍)大学に入学した年度のもの)を提出してください。学生便覧に履修規程が記載されていない場合は、履修規程のコピーも提出してください。 ※学生便覧は試験終了後に返却します。
住民票	出願前 3 ヶ月以内の市区町村長発行のもので、「国籍・地域」「在留資格」欄が明記されたものを提出してください。
入学検定料 (26,000 円)	クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)による決済で納入してください。

■出願上の注意

- ① 入学志願書を本学に持参する場合、窓口受付は平日が9時から16時、土曜日は9時から12時までです。
(第2・4土曜日は休業日)
- ② 提出書類は、入学試験要項を熟読し送付する際は、入力・記入漏れや不備・不足がないことをよく確かめてください。
※顔写真のデータを用意しておいてください。
- ③ 提出後は、入力事項の変更は一切出来ませんので、間違いのないよう注意してください。
- ④ 一旦提出された書類は理由の如何にかかわらず返却いたしません。

※氏名の漢字表記については、JIS 第二水準までの文字を使用して表記しますので、あらかじめご了承ください。

■個人情報の取扱い

本学に提出する書類に記載された個人情報(氏名、生年月日、住所および電話番号)は、入学試験に伴う使用、入学案内および入学後の学務に使用する以外の目的で使用することはありません。

■受験上の注意

試験場・試験室での注意事項

- ① 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 試験日の前々日までに受験票が届かなかった場合には、事前に入試広報課(093-693-3305)までその旨を連絡してください。
- ③ 試験当日は、試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- ④ 入室した後、自分の受験番号と同じ番号の席に着席してください。
- ⑤ 原則として試験が始まった後に入室することはできません。
- ⑥ 試験が終了する前に退出することはできません。
- ⑦ スマートフォン・携帯電話の電源、時計のアラーム機能は必ず切ってから入室してください。

試験時間中の注意事項

- ① 試験中に健康状態が悪くなるなど受験を継続できなくなったときは、ただちに監督者に知らせてください。

■受験および修学上の特別配慮について

身体に障害等があり、受験および修学上の特別な配慮が必要な場合、受験を希望する入試区分の出願2ヶ月前までに入試広報課(093-693-3305)にご相談ください。

■合格発表

P13を参照してください。

■入学手続きについて

- ① 合格者は、前期納入金等(下表)を所定の期日までに納入してください。
- ② 期日までに所定の手続を完了した者にのみ入学を許可します。納入金が期限内に納付されない場合は、入学辞退とみなして処理します。
教科書代(40,000 円程度)、国民健康保険(25,000 円程度)は別途個人負担となります。
- ③ 一旦納入した入学金、前期学納金および委託徴収金等は原則として返還しません。

学部・学科	項目	入学金	前期学納金			委託徴収金	合計
			前期授業料	施設費(全額免除)	教育充実費		
経済学部		0 円	0 円	0 円	0 円	28,160 円	28,160 円
スポーツ学部・ スポーツ学科		0 円	0 円	0 円	0 円	28,160 円	28,160 円

※後期学納金については、2 年次もしくは 3 年次の 9 月に振込依頼書を送付します。
※上記の納入金は 2024 年度のものであり、2025 年度以降改定することがあります。

■前期学納金の返還について

入学を辞退する場合は、合格者に送付する「入学手続きに関するご案内」の冊子にある「入学辞退・前期学納金返還申請書」を令和 7 年 3 月 27 日(木)(12 時必着)までに書留・速達で郵送または入試広報課に直接持参してください。入学金を除く納入金を、令和 7 年 4 月中旬に振込人名義「学校法人福原学園」にて返還します。(振込手数料は本人負担となります)

提出期限 令和 7 年 3 月 27 日(木) 12 時必着
提出(郵送)先 〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘 1-8
九州共立大学 入試広報課
TEL 093-693-3305

インターネット出願の流れ

登録



1. メールアドレスの登録

大学HPから「九州共立大学 インターネット出願サイト」にアクセスし、利用規約を確認した後、メールアドレスを登録してください。登録したメールアドレス宛に「インターネット出願 開始URLのお知らせ」メールが届きます。

メール本文に記載されたURLから「インターネット出願サイト」個人情報入力画面にアクセスしてください。

※@f-regi.comにてメールが届きますので、迷惑メール防止設定・ドメイン指定受信を設定している場合は、事前に設定状況の変更をお願いいたします。

2. 志願者情報の入力

① 入試区分の選択

入試区分と志望学部・学科を選択してください。

② 志願者情報

入力画面にしたがって志願者情報（志願者氏名・出身学校・現住所等）を入力もしくは選択してください。

3. 出願事項入力

入力画面にしたがって選択科目や試験地等を入力もしくは選択してください。

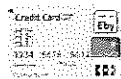
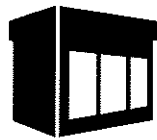


▲詳しくはこちらから

4. 顔写真データの添付

顔写真データを添付してください。

入学検定料支払い



入力画面にしたがって入学検定料の支払方法を選択してください。クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy（ペイジー）から決済方法が選択できます。

※クレジットカード決済はクレジットカード情報を入力しますので、志願者本人または親族名義のクレジットカードで手続きしてください。

※コンビニエンスストア・Pay-easy（ペイジー）決済を選択された場合は、画面上に表示されるお客様番号・確認番号または払込票番号などを控えてコンビニエンスストアや銀行 ATM 等でお支払いください。

入学志願書の確認



支払いの手続き完了後、メールアドレスに「印刷用入学志願書」のURLを送ります。入学志願書をA4普通紙で印刷してください。

郵送



その他の出願に必要な書類を各自で準備し、必要事項を記入後、角2封筒に宛名ラベル（最終頁）を貼付して、「簡易書留」にて締切日の午後4時（必着）までに郵送または入試広報課に持参してください。

出願完了



受験票は、入学志願書の現住所に封書で送ります。（届いた受験票の内容に間違いがないか確認してください。）

合格発表について

合格発表

- 1 合格発表日に合否結果通知を現住所宛に通知します。合格者には入学手続きに必要な書類を同封します。
なお、郵便事情により地域によっては、合格発表日の翌日配達される場合もあります。
- 2 高等学校長等宛に、合否結果を通知します。
- 3 スマートフォンやパソコンを利用した「合否案内サービス」でも合否を確認できます。
- 4 合否に関する問合せには、個人・学校等を問わず一切応じることはできません。

合否案内サービス

- 1 利用日時
合否案内サービスは、各入試区分の合格発表日の午前9時から5日目の午前8時59分まで利用できます。
- 2 利用上の注意
 - ①当サービスでの発表は、受験生の便宜を考慮した補助的な方法です。
 - ②当サービスの「誤操作」「見間違い」などに対して、本学は一切責任を負いません。
 - ③サービス開始直後は、アクセスが多かつながりにくい場合があります。その場合は、しばらくたってから再度操作をしてください。
 - ④機器の性能や接続方法、ブラウザ設定等により表示に時間がかかったり、文字化けが発生したりする場合があります。

WEB(スマートフォン・パソコン)による合否確認方法

下記のアドレス(URL)またはQRコードからアクセスしてください。間違いのないようアドレスを確認のうえ、アクセスしてください。

https://pay.f-regi.com/fc/kyukyo_u/result/

このQRコード
からもアクセス
できます



①スマートフォンによる合否確認方法

■ 受験番号・生年月日を入力する

九州共立大学
受験番号
生年月日
入学試験結果を確認

■ 「入学試験結果を確認」をクリックする

九州共立大学
受験番号
1 2 3 4 5
生年月日
20060402
入学試験結果を確認

合否案内が
画面に表示されます。

②パソコンによる合否確認方法

■ 受験番号・生年月日を入力する

九州共立大学
受験番号
生年月日
入学試験結果を確認

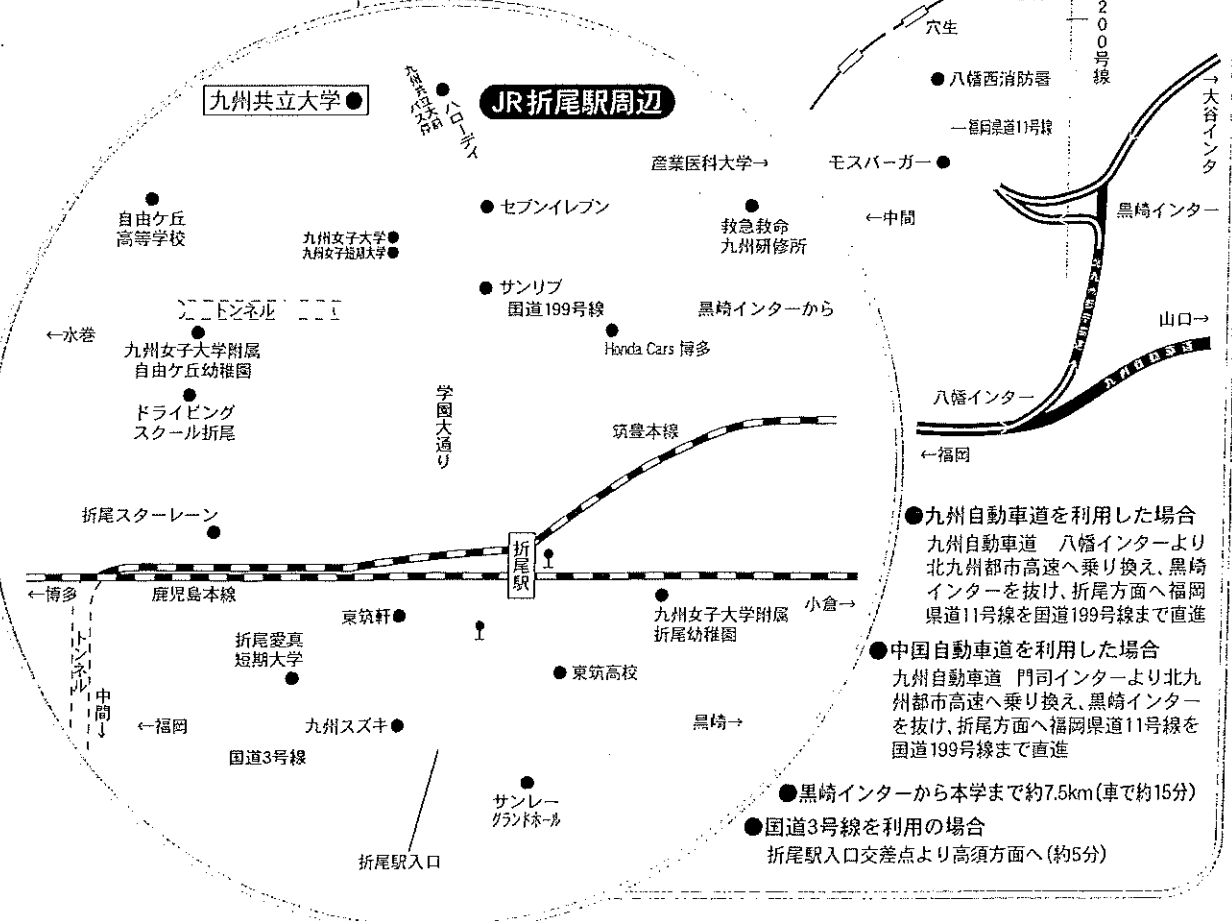
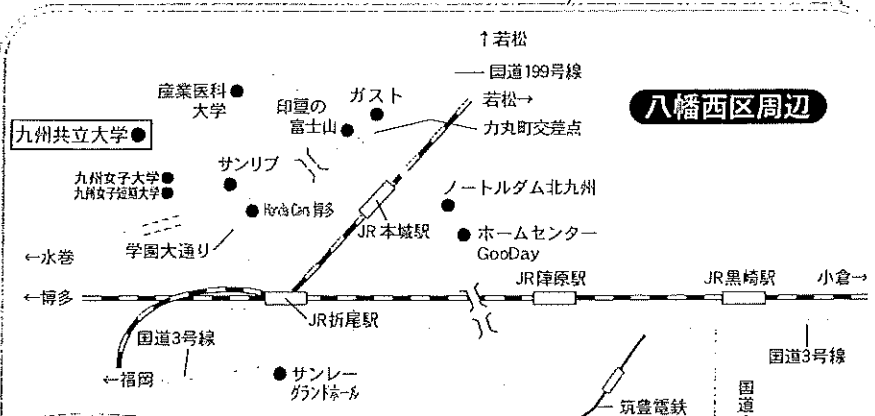
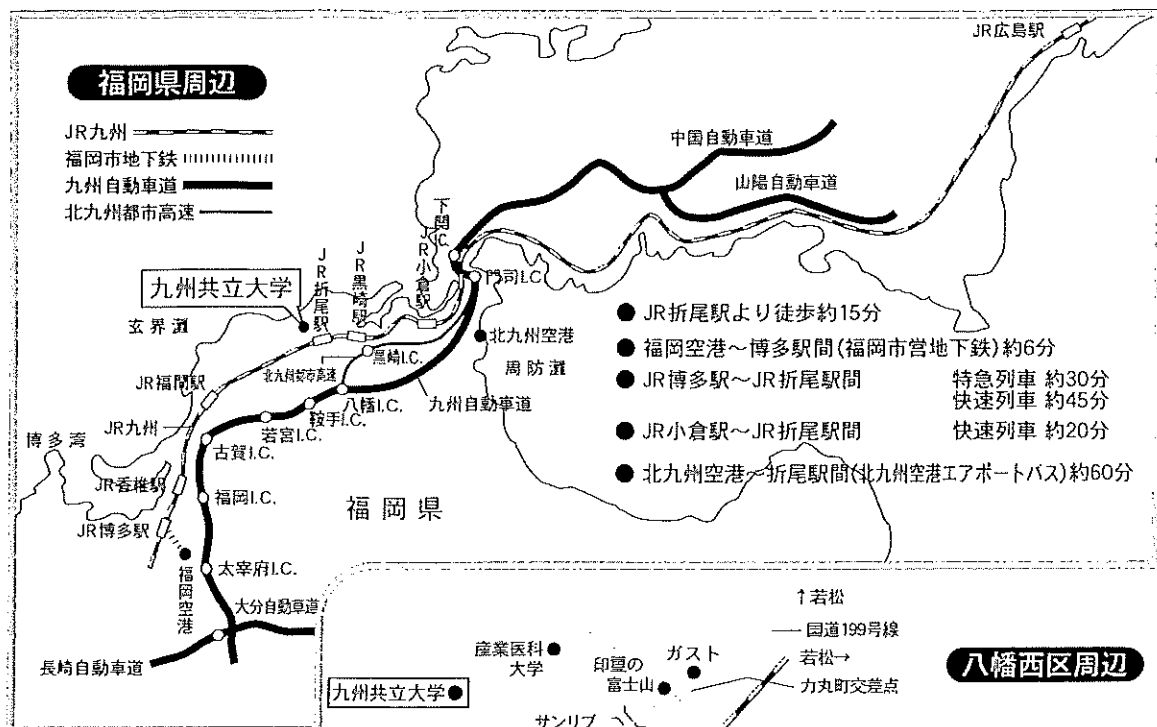
■ 「入学試験結果を確認」をクリックする

九州共立大学
受験番号
1 2 3 4 5
生年月日
20060402
入学試験結果を確認

合否案内が
画面に表示されます。

※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

九州共立大学 案内図



●入試に関するお問合せ先●

九州共立大学

入 試 広 報 課

〒807-8585

北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8

TEL (093) 693-3305 [直通] FAX (093) 693-3204

URL <https://www.kyukyo-u.ac.jp>

E-mail nyushi@kyukyo-u.ac.jp

九州共立大学 自己紹介書 スポーツ学部 特別選抜 学士・編入学

※黒のボールペンで記入すること。(消せるボールペンは不可)

令和 年 月 日

フリガナ		受験番号 記入しないでください
氏 名		
		性別 (○で囲む)
生年月日	(西暦) 年 月 日生	男 ・ 女

出身高校	高等学校	科 (西暦) 年 月卒業
出身(在籍) 大学等	大 学 短期大学 専修学校	学部 学科
	(西暦) 年 月	卒業・卒業見込み 修了・修了見込み (年次修了)

1.志望学科 編入希望年次	学科	年次
------------------	----	----

2.スポーツ活動歴(高校・専修学校・短期大学・大学時代 別)

規 模	開催 年月日	競技種目名	大 会 名	団体・ 個人別	ポジション・ 種目・体重区分	成績・順位・ 記録等
全 国				団 体 個 人		
地区大会 複数県以上				団 体 個 人		
都道府県				団 体 個 人		

3.志望理由
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

※裏面に自己PRを記載

8 0 7 - 8 5 8 5

福岡県北九州市八幡西区

自由ヶ丘一―八

九州共立大学

入試広報課

御中

簡易書留

○印をつけてください 第1志望学科	大学	経済学部	経済・経営学科	
			地域創造学科	
	スポーツ学部		スポーツ学科	
			こどもスポーツ教育学科	
	大学院		経済・経営学研究科	
			スポーツ学研究科	
現住所	〒			
氏名				

入試区分(○印をつけてください)	学校推薦型	一般推薦Ⅰ・Ⅱ期(スポーツ推薦方式)	
		一般推薦Ⅰ・Ⅱ期(面接方式)	
		一般推薦Ⅰ期(学力方式)	
		系列校推薦	
		指定校推薦Ⅰ・Ⅱ期	
	総合型	Ⅰ期(プレゼンテーション方式)	
		Ⅰ・Ⅱ期(レポート方式)	
		Ⅰ・Ⅱ期(技能特待方式)	
		Ⅰ・Ⅱ期(実技方式)	
		協定校総合型選抜Ⅰ・Ⅱ期	
	一般	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期	
		共通テスト併用Ⅰ・Ⅱ期	
		共通テスト併用Ⅱ期(作文方式)	
		共通テスト利用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期 共通テスト利用Ⅳ期(数学重点方式・英語資格方式)	
	K-CIP	K-CIP 特待生(Ⅰ・Ⅱ期)	
		K-CIP 特待生(共通テスト利用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期)	
	学特	学力特待生(Ⅰ・Ⅱ期)	
		学力特待生(共通テスト利用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期)	
	特別	社会人	
		外国人留学生Ⅰ・Ⅱ期	
		指定校推薦編入学	
学士Ⅰ・Ⅱ期			
ウクライナ学生特別編入学Ⅰ・Ⅱ期			
外国人留学生編入学選抜			
大学院Ⅰ・Ⅱ期			

※複数の入試区分に出願する場合は、1つの封筒にまとめて郵送しても構いません。

ただし、「調査書」は入試区分ごとにそれぞれ必要になります。